

# 高度救助隊「岡崎SR」が発隊しました

本市は年々人口の増加と共に都市化が進み、複雑化する各種救助事象に対し、より高度な知識、技術の必要性から、平成21年10月1日に「高度救助隊」岡崎SRを発隊し、救助体制の充実強化を図り、市民の「安全・安心」に万全を期しています。



車両型式

BDG-GX7JGWA改(Ⅲ型)

総排気量

6,400cc

配備先

中消防署本署



高度救助隊「岡崎SR」エンブレム

エンブレムは、岡崎市の鳥であるハクセキレイが勇敢に羽ばたく姿をモチーフにしています。

## 「高度救助隊」

救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部が改正され、中核規模以上の都市または県を代表する指定都市に、高度救助用資機材を備えた「高度救助隊」の設置が義務付けられました。

岡崎市消防本部では、人命救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた高度救助隊員と、高度救助用資機材を積載した救助工作車Ⅲ型を配備し、市民の生命・身体・財産を守るため、日夜訓練に励んでいます。

## 高度救助資機材

### 熱画像直視装置



目視不能な濃煙内や暗夜において、逃げ遅れた要救助者や熱源を熱画像サーモグラフィで表示するため、要救助者の有無、火点、残火の状況を早期に発見できるものです。



### 夜間暗視装置



微弱な光を増幅して暗闇の中でも鮮明に映像を写し出すことができるため、夜間の要救助者の救出、検索活動に活用するものです。



### 地中音響探知機



地震や風水害など自然災害や大事故が発生したとき、倒壊した建物や家屋の中または瓦れきや土砂の隙間などに閉じ込められた生存者のかすかな合図や無意識の生存信号を感知し、位置特定をする装置です。



## 画像探査機Ⅰ型



先端チューブにCCDカメラが装備されマイク、スピーカー、センサーなどを取り付けることができ、遠隔操作が可能でチューブから生存者に空気を送ることやガス、温度測定などが可能です。活動には瓦れき等にカメラを挿入する隊員とモニターを確認する隊員が最低2名必要となります。

## 画像探査機Ⅱ型



先端ケーブルに照明、CCDカメラの設置が可能で、先端を瓦れきの隙間に差込み、内部状況をモニターに写し出すことができ、また音声も同時に拾うことができるもので、下敷きになった生存者の発見に役立ちます。隊員1人で操作が可能です。



## 地震警報器



人が地震を感じる前の初期微動P波（はじめの小さな揺れ）を感知してS波（後に続く大きな揺れ）を予測し警報を発して救助活動を行う救助隊員に危険を知らせることができるものです。